



将来に目標を



PTA会長
西垣 努

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆さま、お子様のご卒業誠におめでとうございます。また、高校3年間のPTAの活動に対し、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、卒業生の皆さんは、思い出の学び舎を巣立ち、それぞれの進路に向かって新しい一步を踏み出すこととなります。大学や専門学校へと進み、さらに学業を極める人や、公務員や民間企業で仕事に携わる人と分かれることとなりますが、親元を離れ新しい生活を行う不安や、4月からの職場での人間関係への不安など様々な思いが交錯していることと思います。しかし、若い皆さんであれば、新しい環境にすぐに慣れ、進学の学校や、就職先の職場できつと活躍することができるとは思いません。

皆さんの高校生活は、新型コロナウイルス感染症によって、制約を受ける中スタートしました。十分に満足な高校生活を送ることができなかったかもしれないが、その分これらの新しい生活で自身の持つ力を十分に発揮して、勉強や仕事をはじめ、遊びに恋にも思いっきり人生を楽しんでください。人生の先輩からのアドバイスです。「人生には小さくても良いので、目標を持ってください。目標を持つことで道に迷わなくなります。」皆さん一人一人が人生という物語の主人公であり、作者でもあります。どのような人生を描くかは皆さん次第です。

最後になりましたが、本日まで、深い愛情を持って、子どもたち一人ひとりに、ご指導くださいました、廣川校長先生をはじめ、諸先生方に敬意を表しますと共に、心より感謝申し上げます。そして、卒業生の皆さんの輝ける未来と、保護者の皆さまのご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

卒業に寄せて



校長
廣川 雅之

三年間の努力を果らせ、本日、卒業の日を迎えられた七十六期の皆さん、卒業おめでとうございます。

また、この間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りました西垣PTA会長をはじめ保護者の皆様、温かく見守ってくださいました同窓会並びに地域の皆様に関心から感謝とお礼を申し上げます。

三年生の皆さんは、二〇二二年四月、真新しい制服に袖とおし迎えた入学式から早いもので三年が経過しました。これまでの高校生活のさまざまな思い出が脳裏を駆け巡っていることと思います。皆さんが入学した年の四月から成人年齢が十八歳になりました。皆さん自身の責任も明確になり、大人としての行動が求められます。このあとの人生は自分

で切り拓いていかなければなりません。幾多の困難が待ち受けていると思いますが、皆さんが困ったときには支えてくださる方がいますので自信をもって突き進んでほしいと思います。これから皆さんが生きていく時代は、先行きの見えない時代でVUCAの時代と言われています。ただ、人は一人では生きていけません。他者を理解し、協働・協力していかねばなりません。その礎は、N高で身に付けたと思いますので、これらの皆さんの活躍を期待しています。

改めて、三年生の保護者の皆様もお子様の晴れの門出にあたり、これまでのご苦労に敬意と祝意を表します。お子様の教育に携わる機会をいただいた私も教職員にとりまして、この上ない喜びを感じております。本校は今後も地域の学校として、子どもたちの学校生活やPTA活動を通じて、地域・保護者と教職員が連携を図り、生徒が更なる成長ができるよう取り組んでまいりますので引き続き、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



卒業おめでとう

－担任よりメッセージ－



《3A》

担任 荒井 清貴

中標津高校第76期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。三年間にわたり、

学年や学級の教育活動にご理解とご協力をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。この三年間、お子様の成長を喜びながらも、ときには悩みや不安を抱えながら支えてこられたことと思います。高校生活を通じて、お子様は多くの経験を積み、知識や技能だけでなく、人としての大切な学びを得てこられました。その姿を一番近くで見守り、励まし続けてこられたご家族の支えがあったからこそ、今日という日を迎えられるのだと思います。

さて、生徒の皆さんが入学した際に、「広い世界でたくましく生きていくために、信頼されるかつこい大人になろう」という話をしました。この高校生活を通じて、さまざまな技能・知識・規範意識を身につけてほしい。たくましく生きるために命の大切さをしっかり理解し、自分の可能性をどんどん広げてほしい——そう願いながら見守ってきました。

授業や学校生活のさまざまな場面を通じて、皆さんは技能・知識・規範意識を学び、可能性を広げてきたことでしょう。そして、その積み重ねが進学や就職の合格へとつながったのだと、自信を持つてください。中には、高校卒業と同時に教育機関での学びを終える人もいるかもしれませんが、「学ぶ」ということは一生続いていくものです。これまでに培った学びの姿勢を忘れず、これからも自分の可能性を広げ続けてください。

これからの社会では、皆さんが自身の可能性を試す機会が数多く訪れるでしょう。就職活動、職場での昇進や異動、さらにはスキルアップのための転職など、人生にはさまざまな選択の場面があります。そのとき、皆さんの背中を押してくれるのは、身につけた知識や技術だけでなく、社会規範の意識や他者からの信頼です。高校時代に培った経験を生かし、さらなる成長を遂げることを願っています。

最後に——かつこよく、素敵な大人へと成長した皆さんに、再び会える日を楽しみにしています。



《3B》

担任 佐藤 夏美

今日は、第七六回卒業式を無事に迎えることができました。保護者の皆様におかれましては、これまでお子様の成長を温かく見守り支えてこられたことに、心より感謝申し上げます。改めまして、本日の晴れの日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

私自身、この3年間生徒たちと共に過ごした日々は、忘れることのできない貴重な時間となりました。初めての担任として不慣れな点も多く、至らぬ点があったことを深くお詫び申し上げます。日々の学級活動や行事、進路指導を通じて、生徒たちから多くのことを学び、成長させていただきました。振り返りますと、進路選択や行事の準備、学級運営など、さまざまな場面で悩みや戸惑いがありました。そのたびに、生徒たちに支えられ、共に歩んでくれました。彼らの明るさ、それぞれの目標に向かって取り組む姿、そしてお互いを思いやる姿は、担任としてだけでなく一人の人間として深く感銘を受けるものでした。生徒たちの存在そのものが、私にとって大きな励みであり、大きな原動力となりました。

改めまして保護者の皆様には、これまで学校へのご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。皆様の温かい見守りがあったからこそ、生徒たちは成長し、それぞれの道を歩む準備を整えることができたのだと思います。

これからの人生において、生徒たちがこれまでの経験を糧とし、大きく羽ばたいていくことを心から願っております。そして、どのような困難に直面しても、自分を信じ、周囲と支え合いながら前へ進んでいくことができると信じています。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご卒業、おめでとうございませう。



《3C》

担任
伊藤 康之

中標津高校第76期生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。そして保護者の皆様、本日まで本校の教育活動にご

理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。大切なお子様が生徒の節目を迎えたことを心からお祝い申し上げます。

私は今年度からこの学年の担任をさせていただきました。授業や部活動で関わったことのある生徒もクラスの半分もおらず、始業式の朝SHRに向かうまでは担任として受け入れてもらえ、不安な気持ちで一杯でした。そんな中、C組の生徒たちは不平不満を言うことなく受け入れてくれました。ものすごく嬉しかったのを覚えています。

さて、この学年はまだコロナ禍が続く中で高校生活をスタートさせました。クラス作りのための宿泊研修が直前で中止になってしまいました。そんな中でも、代わりに行った行事に気持ちを切り替えて楽しんでた印象が残っています。3年生になり、ほとんどの行事がコロナ前に戻り、戻ったといっても生徒たちにとっては新しい形式になることは変わりなく、それでも試行錯誤しながら、時にはぶつかり合いながら作品を創り上げていました。表彰式で喜んでる姿を見てとても嬉しくなりました。学校行事を通じてようやく個人個人がどのような性格なのか、どのような考えなのか理解していききました。ただ、もっと早くから理解を深めていれば、それぞれの進路活動に生かすことができたのではないかと反省しています。それでも、C組の生徒たちは私が手を貸さずとも自分たちで将来のことを真剣に考え、行動することができました。本当に素晴らしいことだと思います。その行動力、判断力をこれからの人生で生かしてほしいと思っています。

これからお互いが別々の道に進むこととなります。その先でまた新しい人とのつながりが生まれることと思います。それでも、これまで築いてきた人とのつながりも大切にしてください。高校生活の苦楽をともにしてきた仲間、皆さんが道に迷ったときの助けになるはずで。皆さんがこの先の山や谷を越え、大きく成長していくことを願っています。



《3D》

担任
赤川 翔

中標津高校第76期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業おめでとうございます。これまで、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

コロナ禍で制約が多い高校生活から始まった学年でしたが、年度の途中からは風向きが変わり、各種行事を徐々に行うことができるようになりました。激動の中で、生徒たちは見学旅行や学校祭、体育祭など各種行事を主体的に行動し、自身の成長につなげていたように感じます。その経験値は、これからの人生を生きる上で間違いなく財産として残ることでしょう。

卒業にあたり、新たな生活へと一歩を踏み出すこととなります。これまでの学生生活で経験し、学んできたことを生かして、それぞれの生活に臨んでもらい、そして、実りの多い人生を歩んでもらいたいと思います。

人生を歩んでいくなかには、様々な節目のときがあります。この中標津高校を卒業することもその節目の一つだと思います。また、これからの人との出会いは多くあります。一期一会という言葉が示すとおり、その出合いを大切にしてください。人と人との関わりが、この世界では必要不可欠であり、それがなくては個人というものを保てないからです。人との出合いに感謝し、人に出会えて良かったと思えるような人になってください。応援しています。

みなさんと過ごすことができた3年間はとても大切な日々でした。みなさんの今後の活躍を心から願っています。



《3F》

担任
道下 博基

この度は、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

お子様の成長を間近で見守り続け、励まし、時には厳しく支えてこられた保護者の皆様のご尽力に、深く敬意を表します。高校生活の3年間は、学業や部活動、友人関係など、多くの挑戦や試練がありました。その中で、お子様が「試行錯誤」を重ねながらも「不撓不屈」の精神で成長を遂げられたのは、保護者の皆様の温かな愛情と忍耐強いサポートがあつてこそだと確信しています。

特に近年は、社会の変化や新たな環境への対応が求められる中、親としての不安や葛藤も多かったことと思います。そのような中で、お子様を信じ、共に歩まれた保護者の皆様の姿勢は、私たち教員にとっても深い学びと励みとなりました。本当にありがとうございました。

これからお子様は、それぞれの道を進んでいきます。その道のりは決して平坦ではないかもしれませんが、しかし、保護者の皆様がこれまで築き上げてきた家庭の絆や人としての基盤が、お子様の背中を押している力となることでしょう。そして私たちもまた、陰ながらお子様の未来を応援し続けてまいります。

最後になりましたが、この3年間、学校生活へのご理解とご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。皆様のご健康とご多幸、そしてお子様のさらなる飛躍を心よりお祈り申し上げます。

「総合ビジネス科の取り組み」について

商業科主任 金澤 哲也

総合ビジネス科の第二期生が卒業を迎えます。

令和三年度より、「総合ビジネス科」がスタートし、今年度で第二期生が卒業を迎えます。これまでの資格取得だけでなく探究活動にも力をいれた「資格と探究」の二刀流のカリキュラムになっております。

●一学年は基礎基本の学習と各検定への取り組みを通して、「学び技術と姿勢」を身に付けます。

一学年は、簿記や情報処理のほかビジネス基礎やマーケティングの授業を通して、商業の基礎を資格取得を通して学んでいきます。検定試験では簿記・ビジネス計算・情報処理・ビジネス文書・商業経済など各検定の基礎である3級を中心に学びます。また希望者は講習も行い、2級や1級にもチャレンジできます。十二月の課題研究発表会では、各企業のポスターを作成しポスターセッションを行いました。

●二学年は、選択科目で希望する分野を伸ばし、探究授業や販売会、就業体験を通して、「向上心や人とのかわり」を学びます。

二学年は、「観光ビジネス」の科目の中で、エントリシートによる「観光甲子園」への参加、七月には毎年恒例の知床ウトロ地区へ、バスで移動し散策を行う「知床フィールドワーク」、十一月には空港での地元特産品の「販売実習」を行いました。さらに小樽商科大学との「高大連携授業」を実施しました。これは直接大学の教授を定期的に招いて観光について学習する実践的・発展的な授業です。普段の「教室や教科書では学べない活動」に力を入れております。そのほか、一学年では選択科目で、簿記・情報処理・ビジネス文書・ビジネス計算などの一級や二級検定に向けた科目を、進路に合わせて選

択できるようにしております。今年度は、既に二年生の時点で、三種目一級以上取得者が七名おります。そのうち四種目1級取得者が三名も出てきております。また、十一月のインターンシップでは商業科の二年生全員が二日間の日程で町内の各事業所で職場体験を行っております。そして、十二月の課題研究発表会では、商品開発を選択した生徒による販売会を実施しました。企業と連携し生徒が考案した地元食材を活用したハンバーガーなど六種類のパンを販売し好評でした。

●三学年は、課題研究を通して、地域での「探究活動」を行い、各種の検定一級を複数取得する「三種目一級取得」を目標にしています。

三学年では、探究活動の成果として、十二月に「課題研究発表会」を行います。町内の事業所の方々のご協力のおかげと生徒の頑張りにより、大変すばらしい発表会となりました。三年生の堂々とした発表に一・二年生も大変刺激を受けました。自分が生まれ育った地域の課題を考え、自ら企業に足を運び、自分たちにできることをまとめる。そして大勢の前で発表し伝える「課題研究発表会」は、総合ビジネス科の探究活動の「集大成」となります。今年度は3年生の商品開発班が企業と連携し生徒が考案した、4種の「スコーン」や、3種類の「ドーナツ」、「本格二郎系ラーメン」などを販売し、大変活気のある楽しい行事となりました。

●全商一級三種目以上取得者九名合格！

全商検定一級を三種目以上取得した者が、昨年度の八名を上回り、「九名」でした。内訳は三種目が六名、四種目が一名、五種目が二名です。これは大変素晴らしい結果です。本校商業科はこれからも「資格取得と探究活動」の二つの柱で、生徒のニーズに応え、地域に貢献できる人材を育てていきます。

商業科表彰

専門高等学校等御下賜金記念
優良卒業生表彰

3年F組 佐藤 玲奈

全国商業高等学校校長協会卒業生
成績優秀者表彰

3年F組 佐藤 陸

全国商業高等学校協会主催
実務検定5種目1級合格者表彰

3年F組 佐藤 聖陸

全国商業高等学校協会主催
実務検定4種目1級合格者表彰

3年F組 太田 結

全国商業高等学校協会主催
実務検定3種目1級合格者表彰

3年F組 熊倉 青輝

小笠原 玲奈
佐藤 春陽
富田 莉々亜
塩崎 琉唯
山川 唯

皆勤賞生徒

5名

A組 音川 友希

村山 杏樹

D組 加藤 実祐

鎌田 紗綾

F組 山口 琉聖

研練褒賞

3年F組
青木 昇也



同窓会クラス幹事

第七十六期卒業生

A組	下柵棚	迅	D組	佐藤 憲輝
B組	濱屋 千聖		F組	熊倉 青輝
C組	飛田野 友紳			